



若竹だより

300

運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
 ③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

謹賀新年

伝導詩人 瀬川 映太さん来園

園長 宮竹 恒

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中、多くの方々にご支援を賜りましたことに心より御礼申し上げます。

さて、令和元年の子どもたちの生活を振り返り、漢字一字で表すとするなら、「和」であったと思います。

学園は、12月に3名の新しい仲間が加わり、現在小学生11名、中学生15名、計26名と一緒に生活しています。昨年は、「協力」をテーマに様々な活動を行いました。3回の太鼓慰問、ダンス発表会への参加、地域の祭りへの参加、遍路小屋お接待活動等、一人では成せないことを仲間と「協力」することで実現出来ました。また、子どもたちを支えて下さった多くの方々のご協力があって、実現したことであります。「協力」していく中に、日本人として、大切な「和」の心が養われたように感じています。

令和2年新しき年を迎え、互いに協力し、「和」の心を大切にしつつ、子どもたち一人一人が「勇気を」持って、新たなことに挑戦出来る一年にしたいと願っています。

日々、多くの方々を支えられていることに感謝しつつ、職員と共に子どもたちの成長を育んでまいります。

本年もご指導、ご鞭撻を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。 一了一

12月23日「伝導詩人 瀬川 映太さんが来園されました。瀬川さんは、映像を交えながら、子どもたちに「命の話」してくださいました。瀬川さんのこれまで歩いて来られた生き様に触れた子どもたちは、真剣な目をして話を聴いていました。特に、一人一人が両親を自分で決めて生まれてきたこと、病気や障がいを持って生まれてくる子どもは、勇気ある魂であることを語れた際は、涙を浮かべながら聴いている子どももいました。

最後に、学園の子どもたち全員の目を見ながら、書下ろしをして下さり、子どもたちは大変感動していました。子どもたちに希望と生きる勇気を与えてくださった瀬川さんに心より感謝申し上げます。



ご寄付頂き誠にありがとうございました。

- たまや様 食品・日用品
 石井事務機様 アイス
 イオン高松様 玩具
 菰田様 瀬川さんプレート

青峰・若竹学級だよ

秋見つけ

小学生は、総合的な学習の時間、図工、音楽、家庭科など様々な教科を通して秋見つけをしました。

例えば、総合的な学習の時間には、遍路小屋周辺の草抜きや花壇の手入れに行った際、みんなで柿狩りをしてお遍路さん用のかごに盛ったり、栗拾いをしたりしました。もちろん、草抜きや花壇の手入れの作業が終わればご褒美にみんなで柿を食べることも忘れません。頑張った後の柿は格別な味だったようです。



図工では、どんぐりや枝、色とりどりの落ち葉など自然のものを使って工作をしたり、はりねずみの壁飾りを作ったりしました。図工の作品は毎回、校舎の入り口付近に飾っています。中学生も学校の行き帰りなどによく見てくれていて、一緒に秋を感じることができました。



新スポーツに挑戦

小学生は、体育でジャベリックボール投げをしました。球体のボールと違い、ラグビーボールに羽が付いたような特殊な形状で、やり投げに似たフォームで投げます。うまく投げられると風を切る音が聞こえ、とても遠くまで飛ばすことができます。5校時後の中学生も参加して、みんなでブーンと音を響かせながら投げ合っている姿は微笑ましかったです。



合同授業(中学生)

保健体育や技術・家庭科、美術の授業をしました。美術の授業では色による感じ方の違いや、色の組み合わせによる効果などを学習しました。

学習の診断&期末テスト

中学3年生は、11月13日(水)に第4回学習の診断を実施しました。3年生にとっては進路を決めるための重要な時期となるので、自室での学習時間を有効に使い、意欲的に学習を重ね、全力で頑張りました。

また、11月27日(水)~29日(金)の3日間、2学期の総仕上げとして中学生は9教科のテストを実施しました。最後まで集中して取り組み、日頃の勉強の成果を発揮できました。

クリスマス会

12月25日クリスマス会を行いました。例年お世話になっているイオンサンタさんが今年も学園に来てくれました。

サンタさんが登場すると、子どもたちは嬉しそうにサンタさんと握手をしたり手を振ってサンタさんを迎えてくれました。大きな袋を担いで登場したサンタさんからプレゼントをもらいとても喜んでいました。



今年のクリスマス会は謎解き大会、ビンゴ大会を行いました。謎解きの問題が難しく苦戦を強いられた子どもたちでしたが自分の力



で答えを導き出すことで正解後はスッキリとした表情で楽しめたようでした！！

太鼓招待



12月8日に「和太鼓集団夢幻の会」奥村様のご厚意で、「志たら全国ツアー いのちの力」太鼓公演に招待して頂きました。子どもたちは、演奏会が始まるとステージにくぎづけで、手拍子をしたり、体でリズムを取ったりと各々に演奏会を楽しみました。普段の生活ではなかなかプロの方たちの演奏を聴く機会がないので、すごく良い経験になりました。奥村様ご招待頂きありがとうございます。

遍路小屋

【子どもたちが掃除を行っての感想】

こんな山の中にある遍路小屋まで登ってくるのは大変だと思う。お遍路さんがゆっくり休めるようにきれいに掃除をしないといけないなと思いました。



中学3年男子

女子は女性遍路小屋の掃除をしました。外はとても寒くて手がかじかんで上手くほうきが持てませんでした。でも、しっかり最後まで掃除をできて綺麗になったので良かったです。寒い中頑張っているお遍路さんが綺麗な場所で安心して休めるように私達が真心込めて一生懸命に掃除をしています。私達が掃除をしている遍路小屋を使って疲れを取ってほしいと思います。

中学3年女子

少しでもお遍路さんがいい気持ちで休憩して頑張れるように綺麗にしました。疲れたけれどお遍路さんの役に立てて良かったです。

中学1年女子

子どもたちは、いろんな思いを込めて掃除をしています。お遍路さんが少しでも体を休め、頑張れるように、これからも心を込めて清掃活動を続けていきたいと思っています。

ヤギの世話

毎日、おやつ後から、希望する子どもたちと一緒にヤギの世話をしています。まず、



ヤギ達を、小屋の外で静かに待たせます。小

屋の中清掃をし、餌箱につぎ分けていきま
す。準備が整い小屋の戸を開けると、やぎ達
は、一斉に小屋の中に入り餌を食べます。
参加する子どもたちは、ヤギの名前を呼びな
がら、親しみを込めてふれあっています。よ
く世話する子どもの中には、やぎの様子を観
て、今日の機嫌の良し悪しを把握できている
子どももいます。

調理実習 豚汁

夕食として豚汁を作りました。材料は、豚
肉・こんにゃく・ごぼう・大根・里芋・人参
を使用しました。班ごとに1種類の材料を切っ
てもらう前に調理師の方にそれぞれの材料の
切り方を実演してもらいました。子どもたち
は、担当の材料の実演を間近で確認しながら
一生懸命切り方を覚えていました。

今回初めて包丁を使う子どもには、包丁の
使い方に慣れている子どもが優しく教えてく
れている様子もありました。ごぼうをささが
きにしたり、人参をイチョウ切りにしたりと
悪戦苦闘しながらもきれいに切ることができ



ました。終わった後
は、「めちゃくちゃ
緊張した。」と言っ
てうまく切れたこと
を喜んでいました。

夕食の時には、自分たちで作った豚汁を飲
んで、笑顔で「おいしい！！」と言っている
子どもが多く、その日はおかわりもたくさん
出ていました。

作っているとき、皮むきや材料を切るの
楽しかった。味もおいしかった。

中学1年 男児

12月行事

7日	図書館学習
12日	買い物学習
22日	図書館学習
25日	クリスマス会
28日	餅つき

在籍人数

令和2年1月1日現在

区 分		県内 (人)	県外	合計 (人)
			(人)	
男 子	小学生	6	1	7
	中学生	8	1	9
	計	14	2	16
女 子	小学生	4	0	4
	中学生	5	1	6
	計	9	1	10
合計		23	3	26

編集後記

昨年、元号が令和に変わった節目の年
でした。若竹学園も新体制が始まり、目ま
ぐるしく過ぎた一年であったように思いま
す。本年も、子どもたちが安心して笑顔で生
活を送れるように、職員一同、健康に気を
つけながら頑張っていきたいと思えます。

植松 圭吾

第309発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒